

病院・介護食製造大手の工場でオーダーメイド方式の電力調達 —価格変動リスクの低減に成功—

デジタルグリッド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：豊田祐介、以下「当社」）は、株式会社ナリコマフード（本社：大阪市茨木市、代表取締役：竹内克成、以下「ナリコマ」）の4工場の電力について、最大約90%を固定価格で調達することで価格変動リスクを抑えるオーダーメイド方式の仕組みを導入しました。

中東情勢が悪化する直前に、デジタルグリッドプラットフォーム（DGP）*を通じて一部の電力を調達したことで、価格変動リスクを低減することに成功しました。

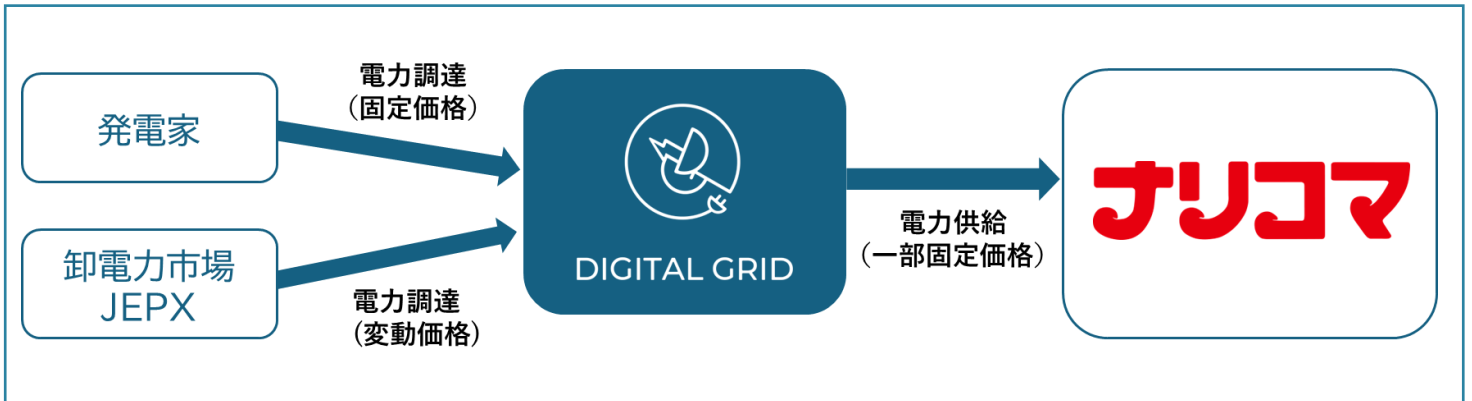
当社は今後も多様なサービスを提供し、お客様がコストや脱炭素方針に応じた電力調達を選択できるよう支援してまいります。



ナリコマについて

ナリコマは、介護・医療施設向けに1日約53万食を全国のセントラルキッチンで製造する業界大手企業です。当社が電力調達を支援した4工場の電力使用量は計約20GWhで、電気代の変動リスクへの対応が求められています。

今回、各工場の電力使用状況に応じて固定価格で調達する電力量を変更するなど、当社の強みである柔軟な設計を行いました。



中東情勢と電力価格について

日本卸電力取引所（JEPX）の価格は、変動性が高い「スポット LNG 価格」の影響を大きく受ける傾向があり、中東情勢による LNG や原油などの価格急変で卸電力市場の価格も変動しています。

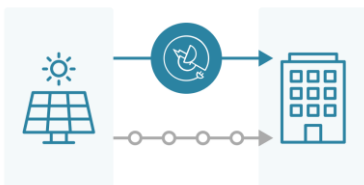
今回、中東情勢による価格変動が拡大する直前に一部の電力を固定価格で調達していたことで、その後の価格急騰の影響を抑えられました。

*デジタルグリッドプラットフォーム（DGP）とは

電力の小売全面自由化後、デジタルグリッドが立ち上げた日本初の民間による電力取引市場。

利用企業数は **1200 社** を突破し、医療や製造、宿泊・観光、地方自治体など **3400 以上の「電力を使う拠点」** と、全国各地 **1400 以上の「発電拠点」** が日々、取引しています。 *2025年7月時点

直接取引による中間コストを削減



安定的な売先を確保



一定割合の電気代を固定化



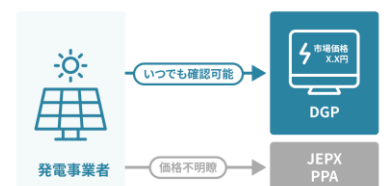
精度の高い需給管理



再エネ電力を望む割合で調達



価格の透明化



会社概要

▶アジア太平洋地域の急成長企業ランキング 2026 入賞 ▶令和 7 年度 気候変動アクション環境大臣賞

会社名：デジタルグリッド株式会社 (<http://www.digitalgrid.com/>)

代表者：代表取締役社長 CEO 豊田祐介 【東証グロース市場 350A】

設立：2017年10月 資本金：1,204百万円（1月末時点） 従業員数：95名（4月1日現在）

所在地：東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂ビル 3 階

事業内容：電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営、分散型電源アグリゲーションサービスの提供